

## 第5回 誇りがもてる美しい都市 分科会 会議要旨

### 1 開催日時

平成26年6月6日(金) 10時00分～

### 2 会場

久留米市役所3階305会議室

### 3 出席委員 (50音順)

委員7名

池尻登委員、石井俊一委員、大森洋子委員、坂井政樹委員、津留崎芳春委員、深井敦夫委員、藤田八暉委員

欠席1名

藤田雅俊委員

### 4 議事次第

1. 開会

2. 議事

(1)久留米市新総合計画 第3次基本計画(案)について

3. その他

4. 閉会

## 発言要旨

### 1. 開会

- 事務局より、欠席者の報告と資料の確認。

### 2. 議事

#### (1) 久留米市新総合計画 第3次基本計画(案)について

- 事務局より前回5月30日の分科会において、各委員から出た意見について事務局から説明。

##### ○藤田八暉分科会長

事務局から説明があったが、他にご意見はないか。特に、前回欠席だった委員はいかがか。

##### ○石井俊一委員

「4 ユニバーサルデザインのまちづくり」について、「主要駅のバリアフリー化」とあるが、これは主要駅だけなのか。本来、全部の駅をすべきではないのか。

##### ○津留崎芳春委員

JR荒木駅にはエレベーター、エスカレーターがないため、足の悪い人には階段がかなり厳しく、いつも駅員にはエレベーターを付けてほしいとお願いしているがなかなか難しいようである。

それと、外環状線の延伸を早く進め、バスが走るようにしてほしい。「総合的な交通体系」と括弧の中では、整備は進まない。外環状線の整備を示してほしい。

##### ○大森洋子委員

44 頁の「市民との協働によるまちづくりの推進」について、計画がなかなか市民に伝わっていない。市民の無関心もあり、市民にいかに情報提供し、身近な問題としてとらえてもらうのが課題。ホームページもあるが、もう少し、身近なレベルまで情報が伝わるように努力してほしい。

それと「庁内における協働に関する組織横断的な課題への調整機能を充実します」とあるが、なかなかそれが市民に伝わってこない。タイ回しではなく、1 箇所の窓口でスムーズに事が運べるシステムにしてほしいと思う。

##### ○藤田八暉分科会長

久留米市の場合、地域コミュニティが機能しているので、それをうまく活用し、市民参画の形にす

るということは大事なことだと思う。例えば、第3期計画を策定したら、その内容分かりやすくまとめ、コミュニティに周知していくことなども必要であると考え。

○深井敦夫委員

「第5節 子どもの笑顔があふれるまち」のところを見たが、親のことばかり書いてあり、子ども自身のことがあまり書かれていないことが気になる。もちろん、安心して出産できる、子育てをする親を支援するということは大事なことだが、子ども自身が希望をもって頑張れるような世の中にしていかなければならず、子どもに対して何をしてあげるというのが薄い気がする。

○藤田八暉分科会長

環境分野では、例えばヨーロッパなどでは「緑の幼稚園」というかたちで、自然と親しむことで、環境の大切さを体感し、豊かな心、健やかな体というものをつくっていくということを行っている。くるめ学の前の、幼児の情操教育についても取組んでもらいたい。

○津留崎芳春委員

最近、子ども会の世話をする親がいないということで自治会長が困っている。新しく来た人も自治会にも入らないことが多く、加入促進を進めてほしい。

○石井俊一委員

子ども会という縦社会を含めた集団の中で社会性を養うというのは大事なことなのだが、子どものライフスタイルも変わってきているし、第一に親が会の面倒をみたくないので、子どもが子供会に入りたくても入らせないという現実がある。子どもたちの将来のためにも、子ども会へ参加しやすいように、地域コミュニティもサポート役として少し関わっていこうと思っている。

○藤田八暉分科会長

久留米大でも、学生が子どもの相手をしている取り組みがある。久留米市には大学生が多いので、学生を活用するやり方もあるかと思う。

○大森洋子委員

先ほどの「3 未来へつながる教育の推進」の中の、「郷土の自然や文化、歴史などをテーマに探究的な学習を行う「くるめ学」や、質の高い文化芸術などに触れ、感性や創造性を育む取り組みなど」というところについて、感性や創造性は、郷土の自然や文化だけではなくていろんな文化を学ぶことで養われるが、くるめ学を学ぶということは地域の誇りを育てることだと思う。

誇りがないと、Uターンにつながらないので、ここは「くるめ学を学んで地域への誇りを醸成する」という言葉のほうがいい。

○深井敦夫委員

平行して動いている協働ワーキングでは、この分科会に関係するような話は出てきているのか。

■事務局

協働ワーキングは、先月から本格的に稼働し、3グループにわかれて活動してもらっている。テーマは3つあり、「高齢者を地域で支え合う仕組みづくり」、「子どもの成長を地域で支える仕組みづくり」、「市民参画による久留米市の魅力発信の仕組みづくり」という3つのテーマであり、この分科会に直接関係するテーマではないが、もし関係する提案があれば報告する。

協働ワーキングからの提案については、最終的には、全体会で報告する予定である。

○藤田八暉分科会長

意見も出尽くしたようなので、まとめたい。

前回の分科会で出た意見と本日出された意見について、対応を事務局と調整し、また、他の分科会とも調整をはかる必要がある。

そういうことを踏まえ、整理の仕方、全体会の報告文書の作り方に関しては、事務局で調整後、分科会長と副分科会長に一任するということがよろしいか。

《承認》

では、そのように進めさせていただきます。

### 3. その他

---

■事務局より、分科会から全体会への報告する会議の日程について連絡。

### 4. 閉会

---

○藤田八暉分科会長より、閉会のあいさつ